

杜のコラム

秋空の下、子どもたちの福德円満を願う

秋空の下、子どもたちの福德円満を願う



早いもので平成二十九年も間もなく終わる。「一年、あつと言う間だな」。子ども頃は、そう口を揃える大人たちを不思議に思っていた。一年は年ずつと変わらず十二ヶ月だし、一日は二十四時間と決まっている。なのに、あつという間とはどういうことなのだろうか。当時は全くピンと来なかつたが、今になって同じことを呟いている

子どもの時間と大人の時間の違いについて、心理学的には「ジャニーの法則」(主観的に記憶される年月の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く評価される)として提唱されている。大人の一年があつという間なのは、あながち間違いではないらしい。

体感時間の差は脳の処理時間の差だと、新陳代謝の差であるとか、はたまた読んでも理解がさっぱり追いつかないかも知れない。

## 杜のコラム

自分に気がつく。

節目の歳を迎えた子どもたちの身体健全・福德円満を祈願し七五三身体健全祈祷会が厳修されました。期間中は多くの家族連れが参拝し、晴れ着に身を包んだ子どもたちが色づき始めた秋の境内を一層にぎやかにしました。

思い出してみてほしい。例えば小学生の頃の一年間。濃密で、いつも何か事件が起きているようでも笑って泣いて怒って悲しんで、絵日記のように春夏秋冬がくつきりとやつてきた。また春が来て次の学年に上がった時には、ものすごい冒険を攻略したような気持ちになつたものだ。それは言い換えれば日々はじめてのことに出会い、体験し、クリアしていくたとことだらう。ある程度の経験を得た今、はじめてのことには出会う事すら意識しなければなかなか難しい。いや、もはや気付くことが出来ないのかもしれない。

人気がつか死を迎える以上、時間に限りがあることに間違はない。有限を、どうすごすべきなつか。大人はよく「時間を大事にしない」とのたまう。子どもたちは、うん、と頷きながら、「そこそこね」なんて舌を出している

# 八木山大庫

2912号

## 特集

年齢早見表	.....1ページ
年末年始のご案内	.....2ページ
新年の授与品	.....3ページ

## 【無料】お坊さんダイレクト

各日 10時～15時 完全予約制(各回50分ずつ)

仏事の疑問に僧侶がホンネで答える新スタイル相談会。墓じまい・仏壇じまいの疑問、永代供養・葬儀の相談などお気軽に

お問い合わせください。

☆予約申込 WEBまたは電話にて

## 12/2(土) 紅葉まつり

今年も「古本供養市」を同時開催。手作り絵本体験や人力車、美味しい屋台もございます。ご家族・ご友人と愉しいお寺時間をお過ごしください。

## 12/8(金) 大日堂煤払い

12時30分より 大日堂にて



## 12/1(金)～5(火) 三千仏佛名会(懺悔会)

西山本堂にて

見学・参加自由  
(開口・結願を除く)

12月8日は大日如来さまの煤払いを行います。力を合わせてほこりを落とし、今年一年の感謝の気持ちを大日如来さまにお伝えします。

背景色の■は和暦の区切りです。

平成30年 年齢早見表(数え年)											
吉	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙	丙	丁	戊	己
●	●	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●
大四	半吉	末吉	半吉	大吉	大四	大四	大吉	大四	大吉	大吉	大吉
九種	九種火	白木									
平30年 2018	平29年 2017	平28年 2016	平27年 2015	平26年 2014	平25年 2013	平24年 2012	平23年 2011	平22年 2010	平21年 2009	平20年 2008	平19年 2007
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82
82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93
93	94	95	96	97	98	99					

厄年とは一生のうちに何らかの厄難に遭遇する恐れの多い年齢をいいます。厄除けをするにあたり、一年の無事を願い御札に身代わりになっていただき、その災いを少しでも少なくすることができます。但し真言宗では男女共通の厄として考えます。

赤字厄年：厄払い祈祷をおすすめします

特にご注意：大凶・体力低下を起こしやすい年齢なので要注意

前厄：本厄の前年で、注意が必要と言われています

# 年末年始は、家族そろって興正寺にお参りへ!

## ◆新年初護摩祈祷会 西山本堂にて／祈祷料 5,000円

一年のはじまりに、みなさま方の幸せや健康、心願成就を祈念し特別護摩祈祷を厳修いたします。  
家族揃って、八事山興正寺へお参りください。

時間	0:00	1:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
1日(月)	○	○	○	○	○	○	○	○
2日(火)			○	○	○	○	○	○
3日(水)			○	○	○	○	○	○



## ◆合同供養会 圓照堂にて／供養料 5,000円 納骨の有無に関わらず、どなたでもご参加いただけます

新たな一年を迎えることを感謝し、ご先祖さまに手を合わせましょう。

時間	8:00	11:30	13:30	16:00
31日(日)	○			○
1日(月)		○	○	○
2日(火)	○	○	○	○
3日(水)	○	○	○	○

※期間中の位牌・お骨出しありは予約制となります。お問い合わせください。

この一年を無事に過ごせたことへの感謝を伝え  
やつてくる新たな年の加護をお願いする。

「ご命日」、春と秋の「お彼岸」、「お盆」、そしてこの「年末年始」。ご供養の機会として年に5回、お参りするとよいと言われています。特にこの年末年始は、一年間大きな災厄なく無事に過ごせたことへの感謝と、新たに始まる一年の加護を願う大切な機会です。家族そろって参拝し、亡き方々へ元気な顔をお見せしましょう。

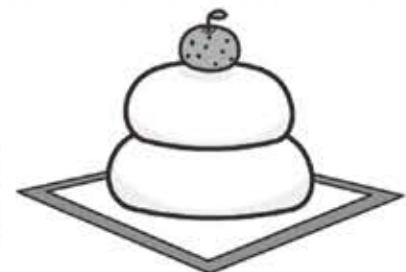
## ◆奉納正月餅のご案内

※お申し込みは来寺・振込にて（平成30年1月3日まで）

新年を迎えるに当たり、本堂・諸堂の鏡餅奉納承っております。

奉納正月餅  
一口 1,000円

※ご奉納いただいたお餅は、仏さまにお供えするための  
お餅です。販売するものではありません。



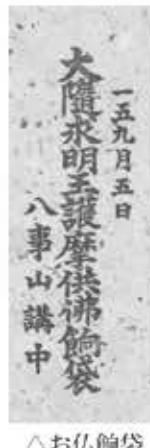
## ◆大般若經転読祈祷会

1月5日(金)10時30分より 西山本堂にて

大般若經とは、玄奘三藏法師が17年掛けてインドより持ち帰った、600巻・文字数60億3千万語におよぶお經です。  
「転讀」という特殊な読み方をし、その功德を以て国家安寧や厄除・身体健全をご祈願いたします。



特別祈禱 一厄除仏石加持祈禱一  
3,000円(散華5枚セット授与)



△お仏壇袋

## ◆成道会(旧暦12月8日)

1月24日(水)14時より 西山本堂にて

お釈迦さまが菩提樹の下で悟りを開かれた(成道)のが、  
旧暦12月8日のこと。お釈迦さまが悟られるまでの永い  
過程をしのび、悟られたことを喜び、私たちが仏道修行  
に励む決意を新たにする法会です。





八事山 興正寺

# 新年の授与品 — 祈祷済 —

「戌」は一と戈から成り、刃物で作物を刈つて、ひとまとめに締めくくる様子、つまり収穫を意味する漢字です。成熟・成長しきった様子を表わし、今まで積み重ねてきたものの成果・時間を振り返る一年です。経済相場の格言では「戌笑う」といいますね。

跳びはねるような元気な「戌年」の授与品をご紹介いたします。自身やご家族のため、また新年のご挨拶にいかがでしょう。

## 宝来

500円

宝来は、弘法大師・空海が中国からもたらしたと伝えられる切り絵で、しめ縄のように玄関や床の間、仏間に掛けます。お正月に掛け替えて、一年間飾ります。



## 千支みくじ

300円

ガーゼ素材でできた、やさしい肌触りの手ぬぐいとハンカチ。日常使いはもちろんのこと、新年のご挨拶にも最適です。

## 千支絵馬

500円

絵馬には願い事、氏名、住所を書き入れて、境内に奉納します。ご自宅にお持ち帰りいただき、一年経ちましたら、當山にご奉納いただいてもよいでしょう。



## 七福神 絵馬

1,000円



彩のきれいな七福神絵馬です。

とつても小さくて可愛らしい、動物たちの根付です。十二種類の中で、ご自分の干支を探すのも良し。ご家族にあげるのも良し。

## 千支根付

各500円

コロンとしたかわいい陶器の戌の中におみくじが入っています。今年の運勢を確かめたあとは、縁起物として一年間おそばに置いてあげてください。



興正寺の破魔矢は弓と矢のセット。厄を祓い、開運と家内安全を呼び込む縁起物です。

## 破魔弓

1,000円



お正月と言えばやつぱり  
**七福神!**

七福神 大色紙  
七福神 三つ折り色紙  
各一、500円

興正寺では寿老人さまの朱印を納めます。



暮れに向かい、もう平成二十九年も終わるのかと時が過ぎるのが年々早く感じるようになりました。さて半年間続いたお大師さまのお話も、今月号で終わります。真言宗の根本道場として、ついに高野山を開創されたお大師さま。その後どうなつていくのでしょうか。

### ◆◆大誓願◆◆

毎年十月、高野山奥之院で行われる夜の法会。奥之院に奉納された膨大な量の燈籠にたくさんの願いが叶えられるようになるとづとめられる。



△修行大師像(西山本堂前)

弘仁七(八一六)年、高野山を開創された後、約二十年にわたりお大師さまは様々な苦労をされながら広く教法につとめていきます。そんな中、お大師さまは早くからあるひとつと考えにたどり着いたと言われています。

天長九(八三二)年の※萬燈萬華会の願文に「虚空尽き、衆生尽き、涅槃尽き

なば、我が願いも尽きん」(この宇宙の生きとし生けるものすべてが解脱をへて仏となり、涅槃を求めるものがいなくなつたとき、私の願いは終る)と記されています。これは、生きとし生けるすべてを救いたい、というお大師さまの大誓願です。ですが人の時間、人の命には限りがあります。限りあるこの身で生きるよりも永遠の瞑想に入り、未來永遠、迷える者苦しむ者を救いたい。お大師さまは御入定をお決めになりました。

※奥之院萬燈会



△弘法大師像(弘法堂)



△弘法大師像(光明殿)

十一月二十日 十時三十分より  
「終い弘法」(弘法堂)

**寺通**

てらつう

その四十二

高野正清

たかのしようせい

御入定とは密教の教義において、僧は死なず、生死の境を超えて出世の時まで、衆生救済を目的として永遠の瞑想に入ることをいいます。

承和元(八三四)年、御心を定めたお大師さま

「遍照金剛」「高祖弘法大師」「空海」です。

は、多くの弟子を集めてお話をされました。弟子達の中には御入定などせずにもつとたくさんの方を教授してほしいと請い願うものも少なくありませんでした。しかしお大師さまの意志は固く、自身の想いを弟子たちに話し、諭されました。お大師さまは、御年六十二になられる承和二(八三五)年三月二十一日、寅の刻をそのときと決め、後々のことを弟子たちに伝えていました。

御入定の一週間前から御住房の一室を淨め、穀物を断ち、身体を香水で淨めて手に大日如来の印を組み、永遠の瞑想「金剛定」にはいついかれたといいます。御入定から五十日目に、弟子たちはお大師さま御自身が定めた、奥之院の靈窟にその御定身を納められました。それが今の高野山奥之院にある御廟でございます。

手を合わせましょう。

南無大師遍照金剛

### ◆◆御入定◆◆

### ◆◆私たちの「お大師さま」◆◆

生きとし生ける命を分け隔てなく救し、救わん

と御入定という道を選び、今もなお私たちの道を、照らし続ける。これが私の思うお大師さま、

「遍照金剛」「高祖弘法大師」「空海」です。

大師という謫号をもつ高徳な僧は日本の歴史

上に幾名も存在しますが、お大師さまといえば弘法大師・空海となるほど、日本の佛教史上偉大な人でありながら身近で親しみのある存在です。いつも私たちが進む道はお大師さんが照らしてください

ています。興正寺でも、様々なお姿でお祀りされています。ご参拝の際はぜひお大師さんの前で

手を合わせましょう。

# 八事山歳時記

## 興正寺の七五三 身体健全祈祷会

十一月三日より、七五三身体健全祈祷会が執り行われています。祈祷は智慧授けの虚空蔵菩薩さま、子どもを守る地蔵菩薩さまがいらっしゃる能満堂にて行われ、境内では家族そろって子どもたちの健やかな成長を願う姿が見られます。



## 秋の宝物展「ちいさな仏」展



十一月七日から十日にかけ、「ちいさな仏」をテーマに普門園大書院にて秋の宝物展が行われました。樹田英伸僧侶による「絵のない絵解き」も同時開催され、期間中は多くの拝観者でにぎわいました。

## 大日堂 秋の収穫祭

十一月八日の大日如来縁日にて、春に植えたイモを掘る、大日堂収穫祭が行われました。当日は冷たい秋の雨が降る一日となりましたが、多くの参拝者が集まり、上からイモがコロコロと出てくるたびに歓声があがりました。



## 自然の恵みに感謝するかに供養

十月三十一日、西山本堂にてかに供養が執り行われました。本格的なシーズンの前に蟹や魚介類を供養することで、自然の恵みへの感謝を新たにしようと、株式会社札幌かに本家さまにより毎年開催されています。



人と街とお寺をつなぐ場所  
八事山文庫

ひと

**興正寺の行事を通して、多くの人に  
防災や消防団の活動について知つてもらえるように。**

師走

旧暦十一月の

大雪

十一月七日

冬至

十一月二十一日

年が終わる  
「年果つ」  
僧侶が走る  
「師走す」

本格的な冬の始まり。山々は白く覆  
われ、平野部でも雪がちらつくこと  
がある。新しい年の準備を始める頃。

一年で最も昼が短く夜が長い日。  
寒さを乗り切るために栄養あるか  
ぼちやを食し、柚子湯に浸かる。

名古屋市滝川消防団 団長 日比野 勝さん

五十年以上前から、興正寺で毎年十月に行われる千燈祭の柴燈大護摩の防火警備を担当している名古屋市滝川消防団。柴燈大護摩の安全を支えてくれている滝川消防団を代表し、団長の日比野さんに今回お話を伺った。

普段は、滝川学区内にて火災予防の呼びかけやマンション等での防災訓練、防火対策指導などを行っている滝川消防団。「千燈祭での柴燈大護摩の防火警備は、他とは違う特別な活動という意識ではなく、自分たちが住んでいる地域の名所での防火警備ですから、日頃の活動と同じように地域貢献のひとつとして行っています。」と、日比野さんは言う。千燈祭が行われる数日前から、滝川消防団

は、消防署の方や興正寺の担当者と打ち合せをして、防火対策指導を行っている。「千燈祭で火事が起つたという話は、今まで一度も聞いたことがありません。もちろん、僕が入団してからも火事が起つたことはないです。」と日比野さんは語った。

千燈祭以外にも、興正寺を会場とした八事の森の春まつりなどで、滝川消防団はブースを開設し、救命講習などを体験してもらっている。普段は滝川学区向上などを図っている。「普段は滝川学区を中心に活動していますが、興正寺さんのイベントに参加すると、他地域から来場される人もたくさんいらっしゃるので、私たちもできる限りの活動を広く知つてもうことができます。それに、多くの

人が集まる場を利用して消防団員の募集も行うこともできるので、ありがたいですよ。」と笑顔で話す日比野さん。また、毎年一月にある文化財防火ティーには、興正寺境内の五重塔の防火訓練も行う。学区の住人やそこで働く人で構成されている滝川消防団にとって、興正寺は生

活圈内の馴染みある場所であり、団の活動場所のひとつにもなっている。「興正寺さんの広い敷地を活かして、いつか防火、防災訓練イベントなども開催できたらと思います。」と、日比野さん。興正寺の行事を通じて、防火・防災意識のさらなる向上を図っていきたいのだそうだ。

親子で読みたい  
ことのは  
あそび

「身体・言葉・心、この三つを同時に高めていくことが大切だというお大師さまの教えの一つです。このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉たちを毎月ご紹介していくります。」



△滝川消防団詰所。滝川コミュニティセンター横にあり、地域の防災訓練や火災予防、消防活動のサポートなどをしている。



△千燈祭では当日も明るいうちから、消防署と一緒に団員が入念な防火警備チェックを行う。



●日比野 勝さん

十年ほど前に町内会長さんから誘われたことをきっかけに滝川消防団へ入団し、今年から団長として滝川消防団をまとめている。

## 10. Go with me on difficult journeys.

Never say, "I can't bear to watch it." or "Let it happen in my absence."

Everything is easier for me if you are there.

Remember I love you.

## 10. 最後の旅立ちまで、一緒にいて。

「もう見てはいられない」「逝くなら私のいないところで」なんて、そんなことは言わないで。

あなたがそばにいてくれるなら、あらゆることを受け入れられるから。

忘れないで。私はいつまでもあなたを愛しています。

「The Ten Commandments of Dog Ownership (犬の十戒)」

The Ten Commandments of Dog Ownership(犬の十戒)は、作者不詳のまま広く世界に伝わっている英文の詩ですが実際には原典があり、ノルウェーのブリーダーが犬の買い手に渡している「犬からご主人への11のお願い」が元であると言われています。それは飼われることとなった犬と、主たる人間の約束ごと。動物を飼っている人もいない人も、ぜひ一読を。



# 石碑でめぐる歴史浪漫

## 十 埋もれた至宝 興正寺石造物群

【其の三】東西の山に響きあう観音合唱団——石造三十三觀音——

東山本堂・不動護摩堂前に立つと、後ろからママさんコーラスの声が聞こえる。ステージに並んでいるよう、「西国三十三所」の石造觀音菩薩が三十三体お行儀よく並んでいます。

前列右端、一番 那智山如意輪觀音の前に立つと、ふたらくや きしうつなみは、と聞こえています。一緒に声を合わせてみてください。知らなくても大丈夫。字幕が舟形光背に刻まれています。そこには二千年前、花山法皇が三十三カ寺を巡りながら詠まれた歌に込められた各寺の情景と深い意味があります。

一番 那智山から一步左へ移動すれば二番紀三井寺です。その距離何と二百糠。

実際に三十三所すべてを巡ると一千糠にもなります。

しかし、三十三所を巡つて罪業消滅を願う気持ちはあっても、誰もが行けるものではありません。およそ三百年前、興正寺開山天瑞和尚は、自ら「一刀三拜」して刻んだ木造三十三觀音を西山に拝納されました。それから百年余後、「今度は私たちの手で」と奉納されたのがこの東山に祀られている石造三十三觀音です。



△東山 石造三十三觀音

東山のコーラスに対し、西山のステージは観音堂への階段です。クリスマスに階段で贊美歌を歌っている女学生のようにきれいに観音さまが並んでいます。これらは平成の世になつて、新たに祀られた石造三十三觀音です。

さあ、もう一度登りましょう。東山と西山の石造三十三觀音と観音堂の木造三十三觀音。一日で「西国三十三所」めぐりを三度もできる幸せをかみしめながら。

(小出)

## はつ雪茶会

年の瀬に一年の感謝をこめて開催するお茶会。

- ◆日 時  
12月6日(水)  
10時半～/12時～/14時半～の三席
- ◆茶 券  
一席二服 1,500円(要予約)  
各席20名



## 子ども寺子屋くらぶ「雪んこ茶会」

子どもだけのお茶会と「舞玉」づくりをします。

- ◆日 時/12月22日(金)13時～15時
- ◆料 金/子ども1,500円/付添い500円(呈茶付)

子ども  
寺子  
屋  
くら  
ぶ

会員隨時  
受付中です



## 竹翠だより

お茶が教えてくれた  
あわせ

緊張しているので正座しているその場から離れられないのだけど、思わず身をのりだしてしまっている子たちの可愛いこと。受け継がれてきた大切な心を子ども達に渡し、眠っている感性の種を見つける子ども寺子屋くらぶ。「雪んこ茶会」は子ども達だけでお茶会をするという今年最後の寺子屋です。

すごいスピードで変化する時代に育ち、日々なかなかに忙しい子ども達。だからこそ、外の世界とは少し流れ方が違う時間を過ごしてほしい。この濃密な一瞬に、それは叶ったような思いました。



## 雪ん子茶会

お茶室に膝を並べて、そわそわ

しつつも少し硬くなつている子どもたち。茶道口に現れたお姉さんの姿にさつと視線が集まります。

皆が静かに進むお点前を固唾を飲んで見つめています。おしゃべり好きな女の子たちも、じつとし

## 法類寺院紹介

法類寺院とは?…互いに密接な関係をもつ寺院で、かつての師匠と弟子などの繋がりを持つ場合も多い。お寺の親戚関係。

ちたこうやさんきょうせいいん  
**知多高野山 喬正院**(知多郡美浜町) 大黒天さま600体のお寺

### 【寺院プロフィール】

- 寺院正式名／知多高野山 喬正院
- 創建・開基・開山／  
【創建】平成6(1994)年  
【開基】森田美喬(現住職の祖父)
- 宗派／高野山真言宗
- 本尊／延命地蔵菩薩(1625年、飛騨の名僧・法橋了真により、安産と子どもの無事成長を祈願する本尊として一刀三札の作法で彫られた)
- 所在地／愛知県知多郡美浜町野間前川95-4  
<https://www.kyouseiin.com/>

### 【寺院データ】

- 伽藍数  
本堂(堂内に大黒堂、宝物室あり)、手水舎、山門
- 文化財／  
延命地蔵菩薩、600体の大黒天、出世三面大黒天(毎月7日の縁日ご本尊)、  
秘仏大黒天2体(憤怒大黒天、神将三面大黒天)  
地蔵菩薩、三面大黒天の御朱印あり
- 年中行事  
毎月7日午前10時より 三面大黒天 護摩祈祷 法話  
毎月24日午前10時より 地蔵菩薩 加持祈祷 法話  
12月7日 秘仏神将大黒天ご開帳  
12月24日 終い地蔵 地蔵鍋お接待 ほか多数



△喬正院本堂

もりた たいちょう

喬正院の森田泰澄住職にお話しをお伺いしました。

—— 喬正院の由緒を教えてください。

もとは祖父が中心になってご本尊のお地蔵様を拝む講(こう/信仰者のグループ)がはじまりです。

講の活動が盛んになるにつれ、大黒天様を中心に様々なお仏像が集まるようになり、祖父が寄進してお寺を建てました。

—— 興正寺との関係を教えてください。

私が二代目住職になる時に、同じ高野山真言宗の名刹である興正寺に弟子入りし、様々に指導を仰いだことがご縁です。

—— 喬正院の活動のすばらしさについてアピールをお願いします。

多くの人に仏縁を結んでもらうべく、様々な活動をしております。毎月7日の大黒天の護摩祈祷には、スポーツ選手や商売をなさっている方など、20代の方もお参りに来られます。600体あられる大黒様のなかには、きっとあなたによく似たお顔の方もおられると思いますよ。

—— ありがとうございました。

★まだ新しい木造の本堂は、お地蔵様の静けさと大黒天様たちの福々しさで満ちていました。美しいお庭も手入れされ、たくさんのがぼり旗が信仰の厚さを物語っていました。なによりも、大きなお体に優しい笑顔のご住職に会いにまた訪れたお寺です。今度はギターを取り入れた法話も聞いてみたいですね!

(取材・文責 桐田英伸)



一月二十一日  
初弘法  
午前十時半より お授戒  
午前十一時より 法話

- お授戒 -  
限定 50 名 / 先着順 菩薩戒牒授与

お授戒とは…? 戒とは…?

仏の示された戒めを 「仏の心の在り方」を説くのが  
阿闍梨さまより直接 「戒」の教えです。  
授かり、ご法話をい 現代の人々にこそ思い出していた  
ただく儀式です。 だきたい規範と言えるでしょう。

年に一度、年始のこの日のみ、灯明のあかりのもと弘法堂にて授けられます。

合格祈願

虚空蔵菩薩

合格



八事山 興正寺

10月より第2・第4日曜日  
14時より能活堂にて  
平成29年  
12月 11月 10月 8月  
10月 12月 22日(日)  
24日(日) 26日(日) 27日(日)

尾張徳川家の祈願所として  
享保2年、徳川公により建立  
された興正寺の能活堂。ご本  
尊・虚空蔵菩薩は今日も学問  
の仏として多くの参拝者が訪  
れます。虚空蔵菩薩は智慧や  
知識、記憶のご利益をもたら  
す「智慧らい」として古くか  
ら多く信仰されてきました。  
興正寺の合格祈願はこの虚空  
蔵菩薩へ祈願いたします。

受付 電話・来寺・能活堂  
お問い合わせはお電話にて  
お詫び申しあげます  
お詫び申しあげます



真言宗

八事山興正寺

《金百萬円》大澤 美津子

大隨求明王志納 ご芳名

平成大改修志納 ご芳名

《金參萬円》奈木 和行

觀音堂お砂袋新調志納 ご芳名



毎年十月五日・十三日に行われる觀音堂秘仏開扉・御砂踏み「お砂袋」について三十九名(四十四口)のみなさまの志納を賜り、新調いたしました。篤く御礼申し上げます。

自 平成二十九年 十月一日  
至 平成二十九年 十月三十一日  
(順不同 敬称略)

観音堂堂守 西山海良  
ありがとうございました。  
心より感謝申し上げます。合掌  
八事山興正寺

## 興正寺開山和尚 天瑞圓照三百回御遠忌にむけて（二）

平成三十年は、興正寺の開山である天瑞圓照和尚の三百回忌にあたります。その遺徳を偲び、三月十四日には法要と開山忌記念茶会、十一月には和尚の足跡をたどる宝物展の開催・記念植樹などを予定しております。

師走になると毎年、興正寺のカレンダーが皆さまのお手元に届きます。郵送されない方も、お寺の各所でお配りしていますので、どうぞお持ちください。このカレンダーには大きく二つの役割があります。ひとつは、年間の仏教行事や文化行事を分かりやすくお伝えすること。もうひとつは、毎年決められたテーマに沿って、寺の歴史や文物をご紹介することです。

平成三十年は興正寺開山 天瑞圓照和尚の三百回忌ですので、全力でスポットを当てる特集となっています。ご自身の記録を残すことよりも、戒律を重んじ、真言律を広く伝えることに心を砕かれた和尚。その記録を紐解くことはなかなかの難題でした。僅かな記録や文書の中の一文をつなぎ合わせ、その人となりや行動を辿り、興正寺の源流を探る作業の中で、かすかに和尚の後ろ姿がうかがえ、そんな気がします。

また来年は、カレンダーと連動して八事山文庫でも、僧侶の視点で和尚の足跡をたどる記事が掲載されます。

三百年の時を超えて繋がるものを楽しみに、来る年も変わらず皆さまをお迎えできるよう努めてまいります。



△天瑞圓照和尚

## 12月の興正寺講座

### 佛讃歌

#### 御詠歌上級

12月8日・14日 13時30分より

講師 鈴村隆弘

光明殿

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

#### 御詠歌初級

12月9日・17日・21日 14時より

講師 鈴村智弘

光明殿

金剛流御詠歌の初級講座です。21日は本堂出仕。

#### 御詠歌入門

12月2日・16日 14時より

講師 鈴村智弘

光明殿

金剛流御詠歌の超入門、お作法や符の読み方からはじめます。

### 体験する

#### 阿息観(密教禪)

12月10日・20日 14時より

講師 杉浦宣秀

普照殿/奥之院

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっております。誰でも心地よくリラックスできますよ!

#### 阿字観

今月はお休みです。

講師 杉浦宣弘

奥之院

真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

#### 写経・写仏

12月21日 11時より

講師 榊田英伸

光明殿

毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

### 学ぶ

#### 仏教入門講座

12月28日 14時より

講師 森田泰澄

普照殿

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

#### 仏典読み解き講座

12月18日 10時より

講師 榊田英伸

普照殿

仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著『往生要集』を読み解いていきます。

### 健康づくり

#### TERA-YOGA(寺ヨガ)

講師 西口のぞみ

12月21日 10時より

普照殿

支具料2,000円(要予約・メ切前日17時)

#### マタニティヨガ

講師 西口のぞみ

12月21日 13時より

普照殿

支具料2,000円(要予約・メ切前日17時)

### 遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容については、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

#### 写経

12月12日

講師 西山海良

支具料1,500円

#### 阿息観

12月26日

講師 西山海良

支具料1,500円

#### 日々折々の書

12月25日

講師 中村 均

支具料2,000円

#### 水墨画

12月22日

講師 山田静舟

支具料2,000円

#### きもの装い(入門・応用)

12月6日

講師 小泉美代子

支具料2,000円

#### 茶の古典を読む

12月7日

講師 榊田英伸

支具料1,500円

御詠歌上級・初級を除くすべての講座でWEB予約が可能となりました。興正寺公式ホームページ「まなびの講座WEB受付」よりお申し込みください。

## 八事今昔物語

### ～そこにお寺のある暮らし④～

こんな歌が古今和歌集にありますご存知でしょうか。

「年の内に春は来にせり一歳を去年とや言わむ今年とや言わむ」

「(暦の上では)まだ一年が終わらない(12月中)内に、春が来ちゃった。この残りの年を去年と言ったら良い?(それとも)今年と言ったら良い?といった意味でしょうか。有原元方と言う人が、立春を迎えて詠んだ歌とのことです。先月にも書きましたが、旧暦では「立春が旧暦元旦より先に来る」ことが頻繁にあったわけで、文字通り正月を迎えるころは新春、梅の花もチラホラ…という風情だったのでしょう。少々ややっこしいですが、今の私達には不思議な感じがしますね。新暦に変わった

頃の明治初期の人たちは、新暦「正月」を迎え、新年を寿いだ後に、二十四節気の「大寒」などの寒い時期を過ごさねばならなかったわけです。さぞ戸惑ったことと思います。21世紀の現代でさえ、私達の「正月」のイメージは「新春」ですもの。千年以上もの生活の積み重ねが生んだ日本人の季節感は、そう簡単には抜けないと言うことですね。その日本人の季節感に合わせて、神仏への信仰も歴史を重ねてきた訳ですから、四立のうち立春が行事として一番重きを置かれ、前夜の節分が盛大なものも合点がいくというもの。「豆」をもって「魔を滅」して厄を祓い、開運を祈ります。當山では、本堂で開運祈祷のあと、盛大に「豆まき」をし、「新年あけましておめでとうございます。新しい年が良い年となりますように」と言って仏さまと皆さまへのご挨拶とします。不思議と、「なぜおめでとうなの?」とのお尋ねはないですね。それくらい、日本人にはなじみのある「仏教行事」なのでしょう。(井上)

## 興正寺行事カレンダー

## 12月

普門園拝観(竹翠亭利用)時間 10:00~16:00

休園日(休業日)/2日(土)・3日(日)・6日(水)・9日(土)・10日(日)・  
11日(月)・16日(土)・20日(水)・22日(金)・31日(日)

月	火	水	木	金	土	日
27 先勝	28 友引	29 先負	30 仏滅	1 大安 戌の日 ◎安産合同祈祷会 13:00 本堂	2 赤口 △御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘 ☆紅葉まつり	3 先勝 ☆一日修養会 10:00 要予約
4 友引	5 先負 ◎大隨求明王 緑日 露店アリ 10:00 千支成満巡り	6 仏滅 △遊翠の心きもの装い 初級 10:00 中級 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ☆はつ雪茶会 10:30 12:00 14:30 竹翠亭 要予約 一席二服 1,500円	7 大安 大雪 △遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 柳田 英伸	8 赤口 ◎大日如来 緑日 12:30 大日堂 理趣分経祈祷 煤払い △御詠歌上級講座 13:30 鈴村 隆弘 光明殿	9 先勝 △御詠歌初級講座 14:00 鈴村 智弘 光明殿	10 友引 △阿息観 14:00 奥之院 杉浦 宣秀 ◎合格祈願会 14:00 能満堂
11 先負	12 仏滅 △遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ★八琴庵定休日 ★永代供養受付定休日	13 大安 戌の日 ◎虚空藏菩薩 緑日 露店アリ 10:00 法話会 10:00 千支成満巡り ◎安産合同祈祷会 14:00 本堂	14 赤口 △遊翠の心 茶の扉 竹翠亭 要問合せ △御詠歌上級講座 13:30 鈴村 隆弘 光明殿	15 先勝 ◎東山 奥之院 緑日 13:00 奥之院 善之綱おくり	16 友引 △御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	17 先負 △御詠歌初級講座 14:00 鈴村 智弘 光明殿
18 大安 ◎観世音菩薩 緑日 13:00 観音堂 護摩祈祷/法話 △仏典読解講座 10:00 普照殿 柳田 英伸	19 赤口 △阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	20 先勝 △遊翠の心 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	21 友引 ◎弘法大師 緑日 10:30 弘法堂 終い弘法 読経/法話 ◎月並御影供 14:00 本堂 △写経写仏講座 11:00 光明殿 △御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 ★TERA-YOGA 10:00 普照殿 要予約 ★マタニティヨガ 13:00 普照殿 要予約	22 先負 冬至 △遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ☆子ども寺子屋くらぶ 雪んこ茶会 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円	23 仏滅 天皇誕生日 24 大安 ◎地蔵菩薩 緑日 13:00 能満堂 大数珠おくり/ 紙芝居 ◎合格祈祷会 14:00 能満堂	弘法大師 興正寺マルシェ
25 赤口 戌の日 ◎安産合同祈祷会 14:00 本堂 △遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	26 先勝 △遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ★永代供養受付定休日	27 友引	28 先負 ◎不動明王 緑日 14:00 不動護摩堂 護摩祈祷/法話 △仏教入門講座 14:00 普照殿 森田 泰澄	29 仏滅	30 大安	31 赤口 大晦日 ☆第九コンサート 22:30 平成大仏前 ☆除夜の鐘 23:45 鐘楼 ◎合同供養会 8:00 16:00 圓照堂



## 第九コンサート

22時30分より  
平成大仏前にて

## 除夜の鐘

23時45分頃より(受付開始23時)  
梵鐘志納 100円(護摩木授与)  
10人一組で撞いていただきます【先着順】